

妊娠

出産

乳幼児期



ネウボラって？

フィンランド語で「相談する場所」が日本語に近い意味。フィンランドでは「ネウボラ」として、かかりつけの担当者や専門職が、妊娠期から就学期まで切れ目なくサポートしています。

仙北市ホームページはコチラ！



子育て世代包括支援センター

仙北市版ネウボラ

な い ろ
通信

【電話相談／仙北市保健課】《固定電話》☎ 55-1112 《携帯電話》☎ 080-2813-0835

ロタウイルスワクチンについて

10月1日よりロタウイルスワクチンの定期接種が始まります。令和2年8月1日以降に生まれた方が対象となります。対象となるお子さんには、乳児訪問時に説明します。

ロタウイルスとは

感染力が非常に強く、激しい下痢を起したり、吐いたりします。生後すぐに感染する場合もありますので、早めの予防接種が必要です。



ロタウイルスワクチンとは

ワクチンは2種類あり、どちらも飲むタイプの生ワクチンです。ロタウイルス胃腸炎の発症を7〜8割減らし、入院するような重症化のほとんどを予防できます。予防接種は、初回接種を生後2か月から出生14週6日までに行います。2種類とも効果や安全性に差はありませんが、接種回数が異なります。



予防接種後に気をつけてほしいこと



接種後（とくに1〜2週間）は腸重積症の症状に注意してください。腸重積症は腸管に腸管が入り込み、腸が閉塞状態となることです。0歳児の場合、ロタウイルスワクチンを接種しなくても起こることがある病気なので、接種しなくても注意が必要です。生後4〜5か月くらいから月齢が上がるにつれて多くなる病気ですので早めにワクチンの接種を完了させましょう。

《次の症状が見られた時は速やかに医療機関を受診してください》

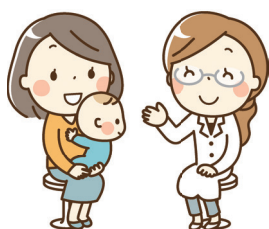
- ◆ 泣いたり不機嫌になったりを繰り返す
- ◆ 繰り返して吐いている
- ◆ 血便が出る
- ◆ ぐったりして顔色が悪くなる



予防接種の受け忘れはありませんか？

予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。特に赤ちゃんの予防接種を遅らせると、免疫がつくのが遅れ、重い感染症になる危険性が高まります。お子さんの健康が気になる時だからこそ、まだ受けていない予防接種がある場合は早めに接種しましょう。

接種スケジュールなどについては、生後1か月前後の赤ちゃん訪問や、乳幼児健診で説明しています。そのほか電話相談も受け付けています。わからないことがありましたらご連絡ください。



10月1日から始まるインフルエンザ予防接種については、広報10月1日号でお知らせします。